STROKE LAB / Upper Limb Assessment

WMFT 上肢機能評価・記録シート

Wolf Motor Function Test ｜ 17項目：時間・FAS 15項目 ＋ 筋力 2項目

氏名／ID：_____ 評価日：_____年____月____日

評価者：_____ 麻痺側：右・左 利き手：右・左 発症日：_____

時期：介入前・介入後・追跡 診断：_____

01 時間・動作の質を記録する

時間：秒／未完了は「120+」。NT＝未実施（本紙独自の記号・理由を記載）。

両側を評価する場合は非麻痺側（影響の少ない側）から。筋力2項目は下欄へ。

No.	課題	非麻痺側		麻痺側	
		秒	FAS	秒	FAS
1	前腕を台に置く（側方）				
2	前腕を箱に置く（側方）				
3	肘を伸ばす（側方）				
4	重りを押して肘を伸ばす				
5	手を台に置く（正面）				
6	手を箱に置く（正面）				
8	重りを手前に引き寄せる				
9	缶を持ち上げる				
10	鉛筆を持ち上げる				
11	クリップを持ち上げる				
12	チェッカーを積む				
13	カードを裏返す				
15	鍵を回す				
16	タオルをたたむ				
17	バスケットを持ち上げる（立位）				

02 筋力を別に記録する

No.7 重量負荷で手を箱へ：非麻痺側 _____ 麻痺側 _____ 単位：lb・kg

No.14 握力（kg） 非麻痺側：①_____ ②_____ ③_____ 代表値_____

麻痺側：①_____ ②_____ ③_____ 代表値_____

握力の集計方法・握力計設定：_____

観察メモ（課題番号／代償・疼痛・未実施理由）：

採点の確認・再評価と目標

同じ器具・配置・手順で比較し、結果を生活場面につなげる

氏名／ID：_____ 評価日：_____年____月____日

03 FAS 0〜5点の早見表（要約）

0	評価側上肢で課題を試みない。
1	試みるが機能的に働かない。非評価側で評価側上肢を動かす場合もある。
2	非評価側上肢での軽微な位置調整、3回以上の試み、著しい遅さ。 両手課題では、評価側上肢が補助的な役割のみを担う場合もある。
3	遂行できるが、共同運動の影響・遅さ・努力を伴う。
4	ほぼ正常だが、軽い遅さや正確性・協調性・滑らかさの不足がある。
5	動作が正常と判断される。発症前の利き手も考慮して比較する。

判定は課題別基準と併用。時間の長さだけでFASを決めない。

04 集計・経時比較（評価側ごと）

比較する側：右・左（麻痺側・非麻痺側） 前回評価日：_____

時間中央値：前回 _____ 秒 → 今回 _____ 秒 未完了：____ / 15項目

FAS合計：前回 _____ / 75 → 今回 _____ / 75 平均：_____ → _____ / 5

FAS平均＝全15項目採点時の合計÷15。筋力は除外。NTを0点に置き換えない。

時間中央値：全15項目を小さい順に並べた8番目。120+を保持。NT時は集計保留。

05 条件・観察・リハビリへの橋渡し

使用マニュアル／版：_____ 器具・配置：標準・変更あり

椅子・机・箱・物品位置／変更点：_____

動作を妨げた要因（疼痛・可動域・感覚・理解・疲労など）：

生活目標／優先する課題番号：

介入内容・練習条件／次回評価日：

実施：開始・終了条件、負荷量、試行回数は原マニュアルに従う。
MDCとMCIDは別の指標。対象・集計方法が一致する文献に基づき解釈する。

参照：UAB CI Therapy Research Group. WMFT Manual (2011), pp.5-7, 26, 30.

原マニュアルを開く（器具配置・課題別判定・詳細手順）

本紙は記録用の補助資料です。正式な日本語版や実施マニュアルの代替ではありません。